



Rotary Opens Opportunities

Rotary International District 2800

# 山形西ロータリークラブ会報

会長:佐藤 章夫 幹事:遠藤 正明

地区目標

「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう。

クラブテーマ

Let's Make The Best Better 前へ!

◆点鐘:佐藤 章夫 会長

◆ロータリーソング:奉仕の理想

◆司会:早川 徹 S.A.A.

◆会場:山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2902回例会

令和3年3月8日(月)

## 会長あいさつ

佐藤 章夫 会長



祝祭日に旗を掲げる日のことを「旗日」と言いますが、本日はそちらについてお話し申し上げます。

祝祭日の旗日には、日章旗を捧げます。私の向かい家のご老体がそうしていたのを見て、私も始めました。そのご老体はとうに亡くなり、今、子孫は揚げていません。旗を掲げる

のは370戸の町内で私だけです。

私は23歳のとき、7カ月、アメリカで普通市民の家庭9戸を渡り歩いてまいりましたが、どの家庭でも職場でも、国旗への敬意とキリスト教信仰を痛感してまいりました。また、他の国々の青年たちと交流して、国際社会では個人に国のアイデンティティーがないことと、無宗教というのでは、誰も相手にしてくれないことを知り、ショックでした。私たちの世代は、そういうものを捨ててしまうことがデモクラシーであり、新生日本の礎だと教育されてきました。ロータリークラブの例会で国旗を掲げ、例会で国家を斉唱するのは、ロータリーが世界組織であるからです。ナショナルを抜きにしたインターナショナルは、ないのであります。

私が旗を掲げるのは、国民の祝日だからです。何かを祝うために、あるいは何かを祈念して、後世に伝えるために仕事が休みになるのです。その日に合わせて敬老会があったり、植樹祭があったり、運動会が行われたりします。だが、それに関係しない人々には、ただの休日に過ぎません。

農家には定まった休日がありません。昭和40年代までは、村の神社の祭礼の日が休日でした。当時は村の衆みんなが仕事を休みました。しかしこれは男衆には休みであっても、女衆は客人をもてなすためにかえって忙しい日です。冬は雪の下で外仕事ができませんが、春の農耕開始に備えて仕事がたくさんありました。

こうした農民の暮らし方にとって、一般サラリーマンが定期的に毎週1回休めるのがとても羨ましく思いました。しかもそれが、1日から2日になり、祝祭日が増え、さらに加えて土・日曜と祝祭日をさらして連休になるようにしたものですから、休みの日がやたらに増えました。

私は祝祭日の意味を確認するために日章旗を掲げます。老人の日には老人をいたわり、子どもの日には子どもたちの健やかな成長を祈願する。みどりの日には草木の繁茂をもたらす自然の恩恵に感謝し、体育の日には身体の鍛え直しと健康を気づかう。これらは日本の国民みんなが関係していることです。だから、「国民の祝日」なのであります。日の丸はオリンピックの応援旗ではありません。右翼のシンボルでもありません。日本国民のアイデンティティーだと私は思っております。

## 幹事報告

遠藤 正明 幹事

- 国際ロータリー第2800地区よりお知らせがありました。2023年度、2024年度ガバナーに就任するガバナーノミニー・デジグネートに山形北ロータリークラブの伊藤三之さんが決定をしたというご報告でございます。
- 株式会社ジョイングループの武田社長さんから、今日のお別れ会について、書面をいただきました。「このたびは弊社相談役、武田義弘のお別れ会に際し、多くのご弔意と心遣いを賜りまして誠にありがとうございます。しかしながら、会場の都合と遠方からのご来館等々の事情で月曜日の開催を選択するしかありませんでした。心よりお詫び申し上げます。皆さまには機会を改めてご挨拶させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます」というふうにご書面をいただいたところです。皆さまからお預かりした御香典については、副幹事の武田にお願いをして参列していただいております。
- 今月のロータリーレートは106円です。

## 委員会報告

### 職業奉仕委員会

3月29日月曜日、職場訪問例会を開催させていただきました。場所は、ドコモ東北支店さんと、山形駅の隣にあるビルで開催をします。開催時間が12時から、先にお食事をとって、12時半から隣のドコモさんのビルの会議室で例会ということになりますので、お間違いにならないようよろしくお願いいたします。ドコモさんのエリアは、山形で唯一、5Gの通信ができるエリアとなっておりますので、そこに仙台と東京から最新の機材等を厳選して持ち込んで、5GとE Xという体験をしていただく、との事です。

出欠がまだの方は、提出の方を事務局までよろしくお願いいたします。

## ニコニコBOX

〈3月8日〉

鈴木謙司さん/月岡さんをお迎えして

本日は欠席のため、お話を聞けないのが残念ですが、私と同じく庚申町2区、現在の錦町内の月岡さんを卓話ゲストにお迎えでき、とても嬉しく思います。ニコニコいたします。

佐藤啓さん/感謝申し上げます

このたび、きらやか産業賞の受賞と健康経営優良法人プライト500の認定をいただきました。ひとえに皆さまのご支援の賜と感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします

## ゲスト卓話



「珈琲は深煎り派ですか？  
浅煎り派ですか？」

月岡 涼二 さん

月珈琲株式会社 代表

今日は、ビジネスのことというよりは、コーヒーについて少しお伝えさせていただけたらいいなと思っております。

最初に焙煎のことについて触れていきたいと思えます。焙煎というのは窯の中に豆を入れて、火をたいて、焼いていくんですけども、がらがん焦がしていくと深煎り、あんまり焼かないと浅煎り。間ぐらいだと中煎り、という考え方になります。

カフェはそもそも語源が、カフワ (Qahwah) っていうアラビア語なんですね。元々は「飲み物」という意味です。それがだんだんコーヒーの意味になってきて、今では、もう多様化しすぎて。カフェの世界で一番有名なところはおそらく、今スターバックスさんじゃないかなと思うんです。今は世界戦略もされているので、第3の場所っていうのがテーマになっています。第3の場所って、カフェでパソコン開いてパパパってやってらっしゃる方をよく目にされるかと思うんですが、あれはスターバックスさん的には正しいお店の使い方なんです。

町の喫茶店、カフェというのは、お食事を出すところをカフェから除いて考えていくと、実は結構近いところになるんです。コーヒーショップのオニバスコーヒーさん、アジア屈指の世界的にも名前が知られているんですが、やっていることが実はかなり細かく、コーヒーを飲んでいただくというよりはプロとして情報を伝えるっていう仕事がメインなってるんですね。コーヒー豆を産地で買付けから抽出まで全部一貫してやっていくことによって、現代のコーヒーのプロとして情報を伝えることが正確にできるようになるんですね。

コーヒー豆の値段はずっと上がって、一昨年初めて1キロ13万円という値段が付いて、牛肉超えです。味も品質もすごく上がってますし、提供の仕方もかなり洗練されてきていますが、問題はやっぱり高いことにあります。どちらかと言うと小さめのお店で、人をなるべく少なくしてプロ集団を作っていくっていう考え方になってきます。それで売り物がコーヒーしかないというのもちょっと難しい。お食事を出さないというスタンスになってくるので、コーヒーを提供することと、コーヒー豆を販売するということになります。こういうお店は浅煎りのコーヒーを多く出しています。なぜかという、品質がいい豆なので、なるべく人為的に変な味をつけないため、浅煎りに焼いてフルーティーに焙煎していくというのが今の手法になってきます。原料に合った焙煎をしているということになってくるんです。今はすごくいい原料が入ってくるようになって、やっとこの浅煎りのコーヒーが出せるような形になってきました。ただ、こんなお店を山形でできるかって言うと、コーヒー1杯600円から1,500円ぐらい。コーヒー豆100グラム4,000円。やっぱり深煎り人口が非常に多いということと、コーヒーショップだけというのはやはり難しいので、喫茶店的な食事を入れて、コーヒーも出してっていう形になるんです。

ちょっと高い豆を置いて、大会なんかにも出て、競技会で成績を残してということもする。けれど、お店に来るとランチがない。これが、うちが10年前に始めて、今やっと浅煎りのコーヒーがお店で提供できるようになってきました。1店目の

江俣店は喫茶店を作ろうということで始めたんですが、高品質な豆を深煎りするっていう手を使って皆さんに提供する。駅前店を始めた時には、浅煎りのコーヒーを提供するんだけどランチをやる。松町が1番最近作ったお店なんですが、焙煎蒸留で焼き菓子も販売しているんです。そうすることで店舗で召し上がっていただくというのが、コーヒーをテイクアウトして焙煎豆を買っていただくというイメージのお店になってます。なので、次はできれば店内で飲食ができなくても、いいお店を作りたいなと思っております。そうすると、一番今の世界の中でも最先端のお店と同じようなコンセプトのお店にできるんじゃないかと、山形にもそういうものが作れるんじゃないかと自分たちも期待をしているところです。

私服でチャラチャラしてコーヒーを出してる店だなんていう感じに受け取られることも多いんですが、意外と真面目にコーヒーのことを考えてやっています。ぜひお店のほうにも来ていただければと思いますし、来店のお客さまよりも卸先さんの開発っていうのが非常に大切に、定期的にご注文いただくということもあって、もし会社さんでコーヒー豆が必要な時はぜひお声掛けをいただければありがたいなと思っております。

## 新入会員スピーチ



角田 浩二郎 会員

有限会社 尚文堂

弊社は大正10年創業で、今年で100周年を迎えることができました。主に看板の製作、設置、メンテまで一貫してあります。表札の小さい物からお店の看板、またスーパーマーケット、遊戯施設、またホテルなど、大型看板を手掛けております。

今年の弊社目標としましては原点回帰、初心を忘れないで、黒子に徹して、お客様のためになるということです。お客様の過去・現在・未来・ストーリーを見てお客様を知る、そして山形を知ることが大事だと思っております。

地域の皆さまに、元氣と笑顔を与えることができないだろうかと考えまして、旅するオブジェという形で、「虹色さくらんぼ」と名前を付けて無償で、民間、行政関係なく、どこにでも1週間から2週間ぐらい展示する活動もしております。

今後も、山形の誇りと素晴らしさを、山形にもそして世界中にも広めるようなことを努力してまいりたいと思っておりますので、なにとぞ今後ともよろしくお願ひします。ありがとうございました。



## 米山奨学歓送会 米山委員長 芦野 茂

2月13日(土)に山形グランドホテルにて2020年度米山奨学歓送会が執り行われました。西クラブから終了奨学生チャン・ダン君、後藤章洋カウンセラーの他、終了奨学生7名、カウンセラー7名への終了証・在籍証明書・感謝状の授与を、齋藤榮助ガバナーより手渡されました。

今後のダン君は山形での就職が決り母国と日本の懸け橋になって下さることをお約束し無事に終了できましたことをご報告申し上げます。

これからも米山奨学事業のご理解賜りますようお願い申し上げます。



本日出席 (3 / 8)	会員総数	出席会員数
	101名	50名